

# 入院診療計画書 「 けいれん の治療を受けられる

# さんへ 」

(病名) (症状) けいれん (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族) 確認サイン

経過	入院時	2~3日目	4日目(退院時)
月 日	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日
到達目標	けいれんのコントロールが出来る	食事摂取が出来る	活気が戻りけいれんがない
治療処置	輸液による水分補給・栄養補給のため持続点滴を始めます。 抗生剤を1日3回行います。必要時、 抗痙攣薬の点滴や座薬を使用します。症状が強い場合は 心電図モニターを装着します。	状態が安定していれば点滴が中止になります。	
手術	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (術式: )		
検査	血液検査・検尿・胸部レントゲン検査、鼻腔培養検査をします。 必要時、頭部CTや髄液検査を行います。		退院時、必要に応じて血液検査があります。 内服は続けてください。
薬剤	現在服用されている薬があれば、全て看護師にお渡しください。 発熱時はクーリング、許可があれば解熱剤の使用が可能です。 症状に合わせて内服が始まります。	内服ができない場合はお知らせください。	
全身管理	毎日1日4回検温をします。但し熱がある時は例外です。10時に食事量・尿・便の回数をお尋ねします。 点滴が確実に入っているか、点滴の漏れがないか、夜間も巡回し点滴の管理をします。		
食事	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 けいれんが落ち着き主治医から許可があれば飲水から始め、食事摂取 が可能です。食物アレルギーがありましたらお知らせください。		状態に応じて食事の形態が変更できますので 希望があればお知らせください
安静	ベットの安静です。	ベッド上で静かに遊べます。	
清潔	入浴はできません。	身体拭きか沐浴を行います。	
患者・家族への説明	主治医から病状・検査結果・治療について説明します。 看護師が入院生活のオリエンテーションをします。 中学生以下のお子様の面会はできません。感染防止のため、 病室に入られる際は手洗いをお願いします。 治療・福祉などの相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねくだ さい。		医師より退院の説明があります。 看護師より退院後の生活や次回受診について 説明します。

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ねください。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名